

死亡損失・負傷損失の推計のための
アンケート票

はじめに

この調査には

**『もし不幸にも、あなたが交通事故で死亡したり
負傷した場合に、どのようにお感じになるか？』**

という内容が含まれております。

正確な調査を期するために、負傷の内容については具体的な記述がされております。

そのため、場合によっては、あなたに不愉快な思いをさせたり、あるいは気分を悪くさせたりしてしまうことがあるかもしれません。

この調査はできるだけそのようなことがないように設計しておりますが、万が一このようなことにより、これ以上調査を継続したくない場合、回答を中止していただいて結構です。

<問1> あなた自身に関する質問です。性別はどちらですか。

<回答1> (SA)

- 1 男
- 2 女

<問2> あなたの年齢にあてはまるものをお選び下さい。

<回答2> (SA)

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1 20歳代 | 2 30歳代 | 3 40歳代 |
| 4 50歳代 | 5 60歳代 | 6 70歳代以上 |

<問3> あなた自身およびあなたの周りで、人身事故に遭った経験のある方はいらっしゃいますか？

<回答3> (MA、5のみSA)

- 1 あなた自身
- 2 家族(配偶者、子供、親、兄弟、義理父、義理母/等)
- 3 親戚(いとこ、おじ・おば/等)
- 4 友人

- 5 いない

<問4> 交通事故の確率について

平成27年度のデータによると、日本では、交通事故で死亡する確率が、1年間で「10万分の3.2」といわれています。

これは、1年間で自殺により死亡する確率より小さく、火災で死亡する確率より大きいこととなります。

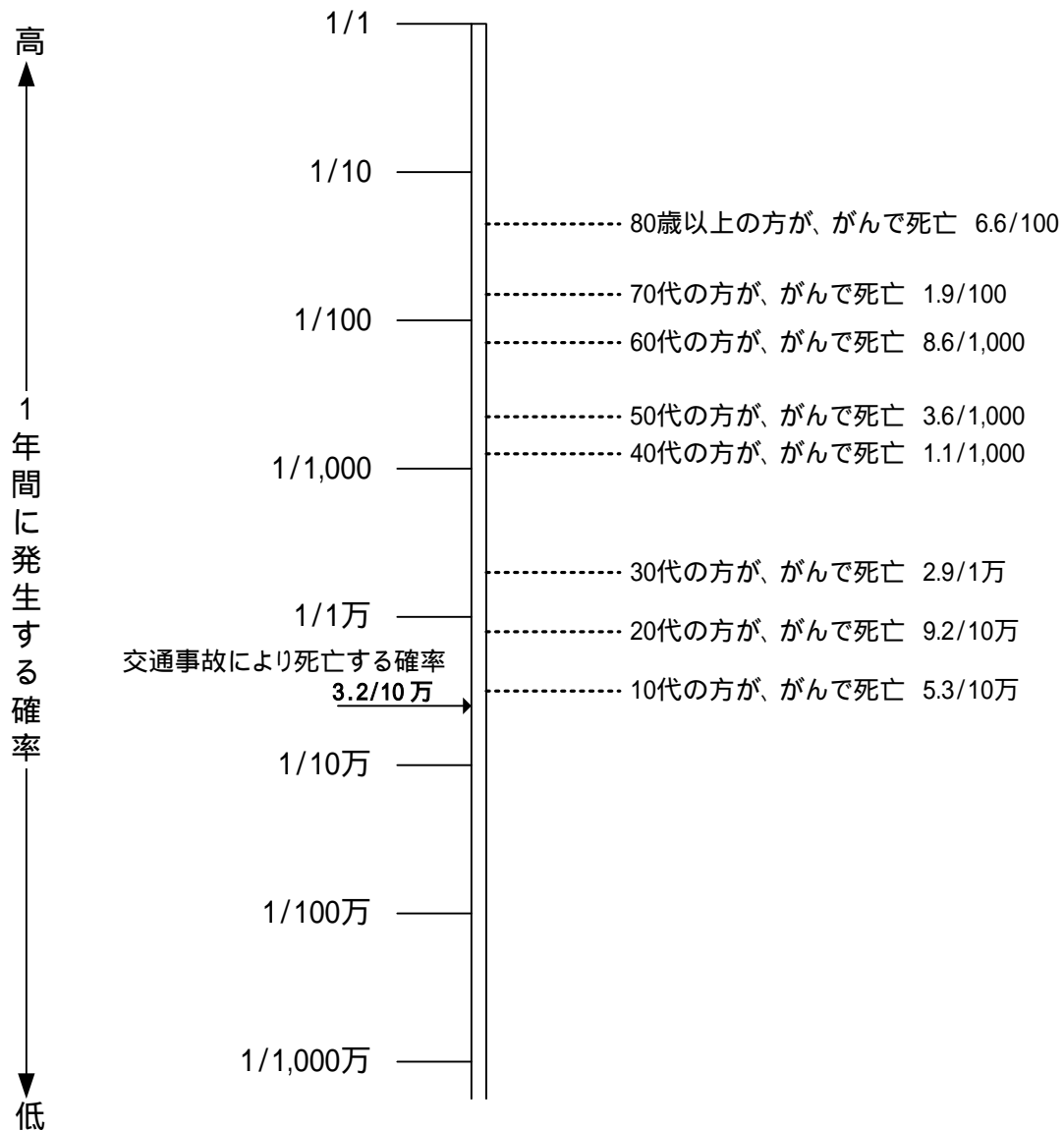
平成27年度の交通事故で死亡する確率に関するデータ

平成27年	人身事故被害者数	66万6,023人	(1,000人に	約5.2人)
	交通事故死者数	4,117人	(10万人に	約3.2人)
日本の総人口 約1億2,696万人(平成28年3月)				
1年間で『交通事故』により死亡する確率 = 10万分の 3.2				
1年間で『自殺』により死亡する確率 = 10万分の 18.9				
1年間で『火災』により死亡する確率 = 10万分の 1.2				

さて、現在、日本では1年間に10万人あたり3.2人が交通事故で死亡しています。10万人あたり3.2人という大きさは、下図で示す「死亡確率の大きさについて(10万分の3.2)」のとおりです。

これは、普通の処置では、あなたが交通事故により死亡してしまう確率が1年間に10万分の3.2であることを示しています。また、参考までに年代別のがんによる死亡率との比較もご覧ください。

上記年度、数字は実施時期に合わせて修正する。



さて、ここにAさんとBさんがいるとします。

仮に、**Aさん**が今後1年間で死亡する確率は **10万分の5** (5/100,000)

Bさんが今後1年間で死亡する確率は **10万分の10** (10/100,000)

という説明があったとします。

あなたは以上の説明で、Aさんよりも **Bさんの方が**、今後1年間で**死亡する確率が高い**ということが理解できますか？

<回答4> (SA)

1 はい

2 いいえ (終了。回答者から排除)

<問5> 交通事故の確率について

次に、ここにCさんとDさんがいます。

仮に、Cさんが今後1年間で死亡する確率は 10万分の6 (6/100,000)

Dさんが今後1年間で死亡する確率は 10万分の2 (2/100,000)

という説明があったとします。

あなたは以上の説明で、Cさんが今後1年間で死亡する確率は、Dさんの3倍であることが理解できますか？

<回答5> (SA)

1 はい

2 いいえ (終了。回答者から排除)

<本ページはWeb上では非表示>

以下の問6のいずれか1群のみ回答
最終的には、問6 × 金額組合せ5パターンの回収数は同じになるように設定

なお、問6の設問中に登場するA、B、Cの金額組合せは次の通りとし、各金額の組み合わせは均等割付（同じ確率で無作為に選択）。

	A	B	C
金額組合せ1	千	5千	百
金額組合せ2	5千	1万	千
金額組合せ3	1万	3万	5千
金額組合せ4	3万	5万	1万
金額組合せ5	5万	10万	3万

アンケートにお答えいただくにあたって

この調査では、まずはじめに、

もし不幸にも、あなたが交通事故で死亡するような状況

を想定した質問にお答えいただきます。

質問に先立って、いくつか想像いただく状況について、文章（図を含む）をご覧ください、内容をよくご理解いただきます。

その上で、「はい」か「いいえ」でお答えいただく質問が2問、その理由等をお選びいただく質問が1問ございます。

質問自体は簡単なものですが、質問に先立ってご覧ください文章は長文で、内容をご理解いただくためには、早くても1～2分以上かけて熟読いただく必要がございます。

つづけて、

もし不幸にも、あなたが交通事故で負傷してしまった状況

を想定した質問にお答えいただきます。

まずは、交通事故による負傷・後遺症の状態によりいくつかのパターンを設定しておりますので、その文章をご覧ください、内容をよく理解していただきます。その上で、望ましいと感じる順位をつけていただく質問が2問ございます。質問に先立ってご覧ください文章は、やや長文で、5つのパターンがあるため、内容をご理解いただくためには、早くても5～6分以上かけて熟読いただく必要がございます。

次に、上記で見ていただいた負傷・後遺症のパターンのひとつを対象に、いくつか想像していただく状況について、文章（図を含む）をご覧ください、内容をよくご理解いただきます。

その上で、「どのように感じるか」や「どのような条件なら治療を受けてもよいか」といった質問が1～2問ございます。

と同様、質問自体は簡単なものですが、質問に先立ってご覧ください文章は、やや長文で、内容をご理解いただくためには、早くても1～2分以上かけて熟読いただく必要がございます。

最後に、あなた自身の家族構成など（1～3分程度で回答可能な）簡単な質問が10問程度で終了となります。

交通事故による死亡リスクを減らすことができる「安全グッズ」について

安全グッズについて

交通事故で死亡するリスクを削減できる新しい『安全グッズ』が開発されたとします（技術的には現実的ではないかもしれませんが、**仮にそのようなものが本当に開発されたと想定してください**）。

この『安全グッズ』は、ICカード（キャッシュカード大のプラスチック製カード）のような大きさで、もし所持していれば、歩行中・乗車中にかかわらず、事故になる直前に車側のブレーキが自動的にかかります。

ただし、この『安全グッズ』は、必ず動作するとは限りません。

- この『安全グッズ』の動作が **成功**した場合には、**衝突を防止し、あなたは死亡を回避**することができますが、
- この『安全グッズ』がうまく動作せず **失敗**した場合には、あなたは交通事故に遭ってしまい、**24時間以内に死亡**してしまいます。

安全グッズの使用料 について

この『安全グッズ』を使用するためには、**「使用料」**を支払わなくてはならず、その**使用料をあなた自身が支払う必要**があります。

『安全グッズ』の使用料は次のようになっています。

使用料は1年単位の契約です（1年後、継続して使用する場合は、再度使用料が必要です）。

使用料は1年分の料金を前払いで一括支払いしていただきます。

使用料を支払って契約した1年間の間に、仮に交通事故に遭わなかったとしても、使用料は返金されません。

質問の内容

あなたは、この交通事故による死亡リスクをへらすことができる『安全グッズ』の**使用料**について、いくらなら支払う意思があるのかをおたずねします。

留意点

ただし、ご回答に際して以下の点に留意して下さい。

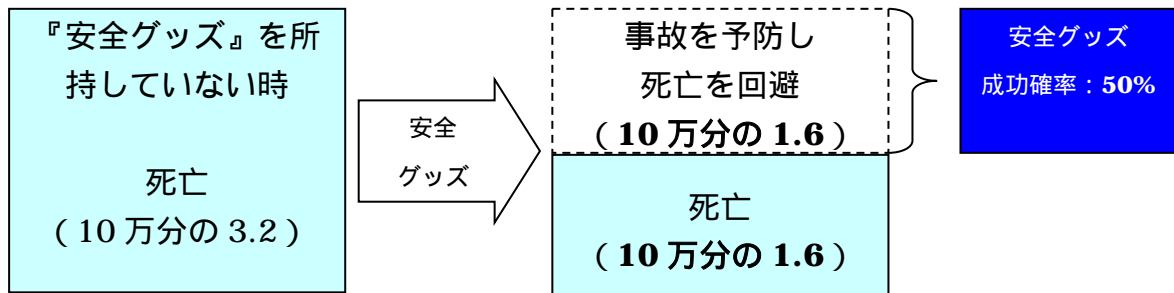
「安全グッズ」は、使用料の他には**一切の費用はかかりません。**

<問6 - 1> 「安全グッズ」(成功確率 50%) について

さて、先程想定していただいたとおり、「あなたが交通事故で死亡するリスクを削減できる新しい『安全グッズ』が開発された」とします。

この『安全グッズ』には成功確率が 25% のものと 50% のものがありますが、あなたの場合、成功確率 50% の安全グッズと仮定してください。

言い換えれば、この『安全グッズ』を使用することにより、交通事故で死亡するリスクは 10 万分の 3.2 から 10 万分の 1.6 に低下します。



なお、先程の仮定をもう一度ご覧になりたい場合は、[こちら](#)をクリックして下さい。

さて、あなたは、この『安全グッズ』の、1年間の使用料が **A** 円なら支払ってもよいと思いますか。

なお、『安全グッズ』への使用料は、あなたご自身が支払い、他のものに支出できるお金がその分だけ減ってしまうことを考慮してお答えください。

<回答6 - 1> (SA)

- 1 使用料を支払ってもよい(問6 - 2へ)
- 2 支払いたくない(問6 - 3へ)

<問6 - 2>

それでは **B** 円でも使用料を支払いますか。

<回答6 - 2> (SA)

- 1 その使用料でも支払ってもよい(問6 - 4へ)
- 2 その使用料なら支払いたくない(問6 - 4へ)

<問6 - 3>

それでは **C** 円なら使用料を支払いますか。

<回答6 - 3> (SA)

- 1 その使用料なら支払ってもよい(問6 - 4へ)
- 2 その使用料でも支払いたくない(問6 - 5へ)

<問6 - 4>

『安全グッズ』を使用したいと考えた理由は何ですか。

<回答6 - 4> (SA)(問8へ)

- 1 それくらいの金額であれば出してもいいと思うから
- 2 交通事故に遭う確率を少しでも低くしたいから
- 3 交通事故で負傷した時に治る確率を少しでも高めたいから
- 4 家族や周囲の人に迷惑を掛けたくないから
- 5 『安全グッズ』の効果が信用できそうだから
- 6 その他(具体的に)

<問6 - 5>

『安全グッズ』を使用しない理由は何ですか。

<回答6 - 5> (SA)(問8へ)

- 1 それほどの金額を出すべきものと思わないから
- 2 『安全グッズ』に本当に効果があるとはどうしても思えないから
- 3 『安全グッズ』を持つことで、かえって運転が不注意になりそうだから
- 4 私は、そもそもこのような事故に遭わないと思うから
- 5 その他(具体的に)

交通事故の負傷の程度や後遺症について

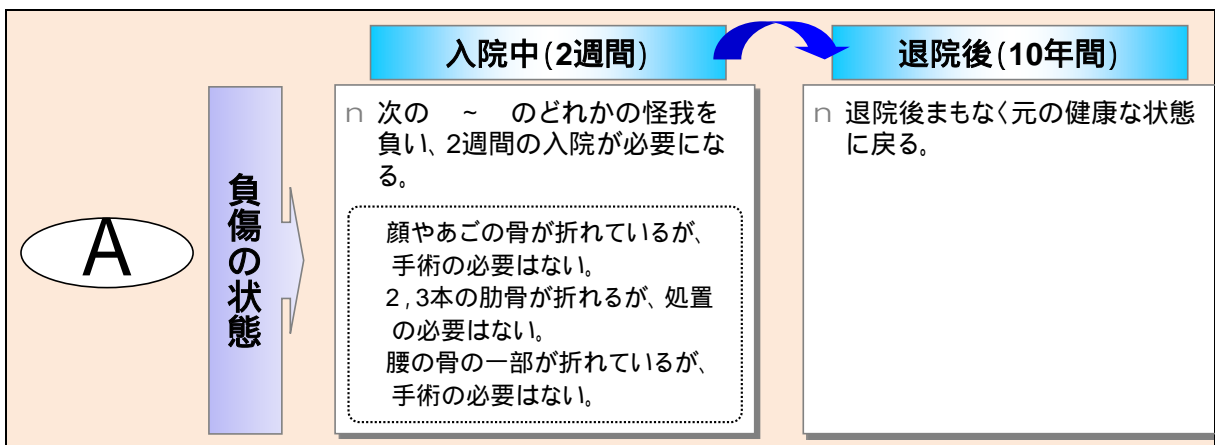
ここからの質問は、あなたが仮に交通事故に遭い、負傷し、怪我の治療を受ける状況を想定していただきます。

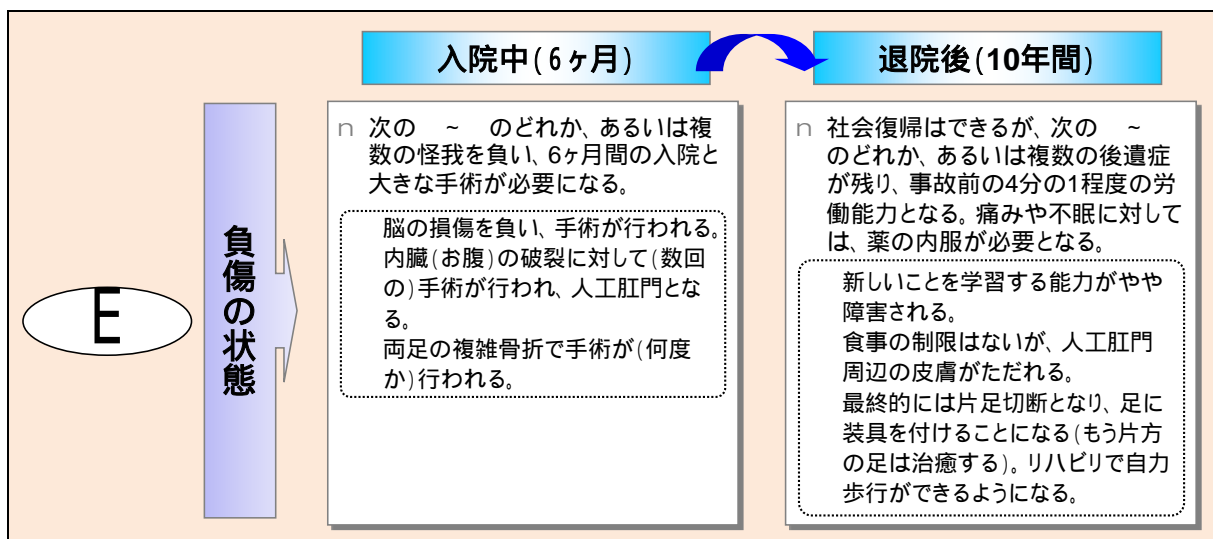
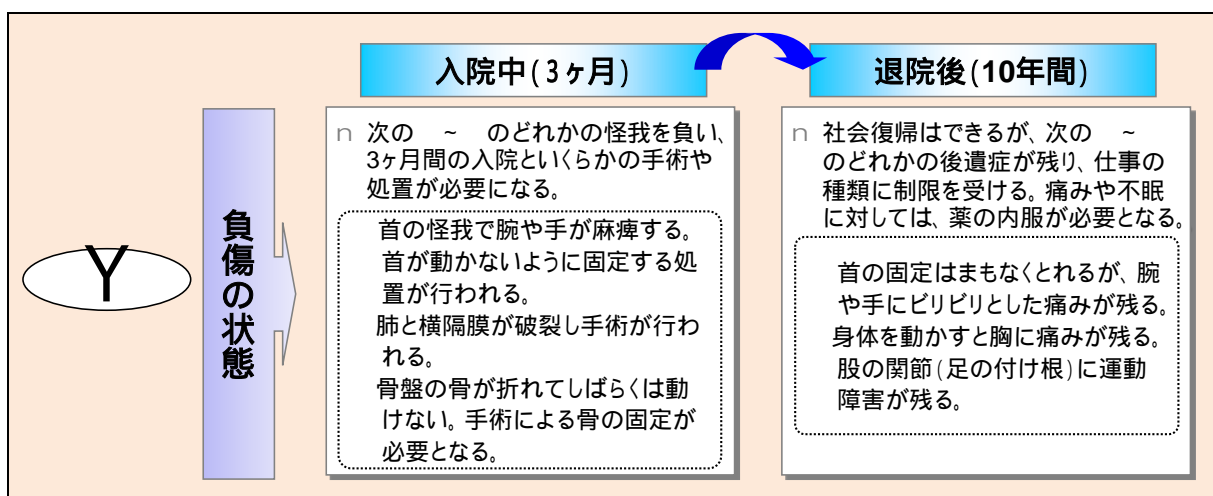
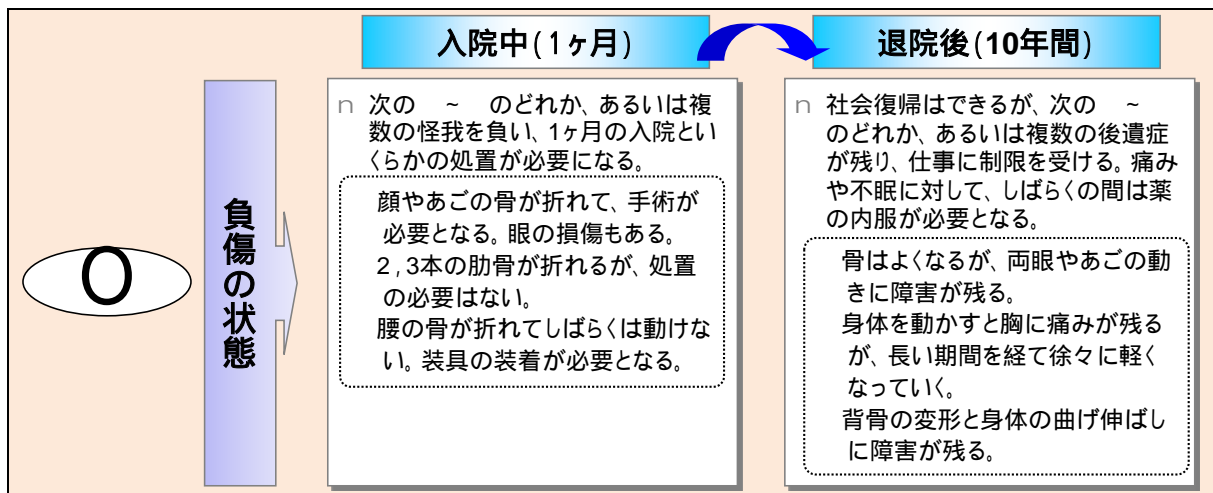
交通事故で負傷した場合、入院が必要になったり、あなたの身体に後遺症が残ったりする場合があります。

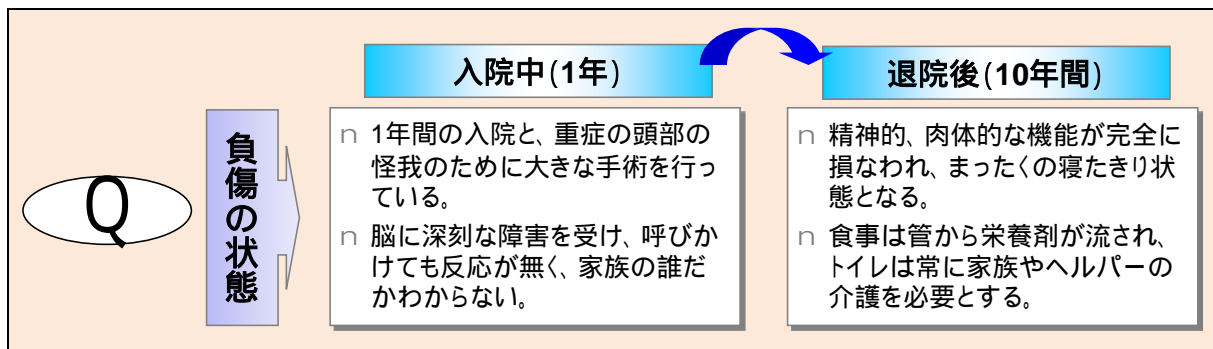
<問7 - 1 >

負傷の程度が異なる7枚のカード(死亡K、健康状態Jを含む)を、健康Jをもっとも望ましいとして、あなたが望ましいと感じるものを順番に選んでください。

以下のカードをクリックしていただくと、先ほど見ていただいた負傷・後遺症をしめたカードを見ることができるので、ページの下にある「選択してください」をクリックして順番をご回答ください。







< 問 7 - 1 - 1 >

- ・健康(カードJ)の状態の次に望ましいカードを選んでください。
選ばれたカードは消える。(Web 上は非表示)

< 問 7 - 1 - 2 >

- ・次に望ましいカードを選んでください。

< 問 7 - 1 - 3 >

- ・次に望ましいカードを選んでください。

< 問 7 - 1 - 4 >

- ・次に望ましいカードを選んでください。

< 問 7 - 1 - 5 >

- ・次に望ましいカードを選んでください。

< 問 7 - 1 - 6 >

- ・次に望ましいカードを選んでください。

<以下、問8～問11の回答者に>

交通事故で負傷した時に受けられる「特別な治療」について

ここからの質問は、あなたが仮に交通事故に遭い、負傷し、怪我の治療を受ける状況を想定していただきます。先ほどの質問とは、少し異なりますので、よくお読みください。

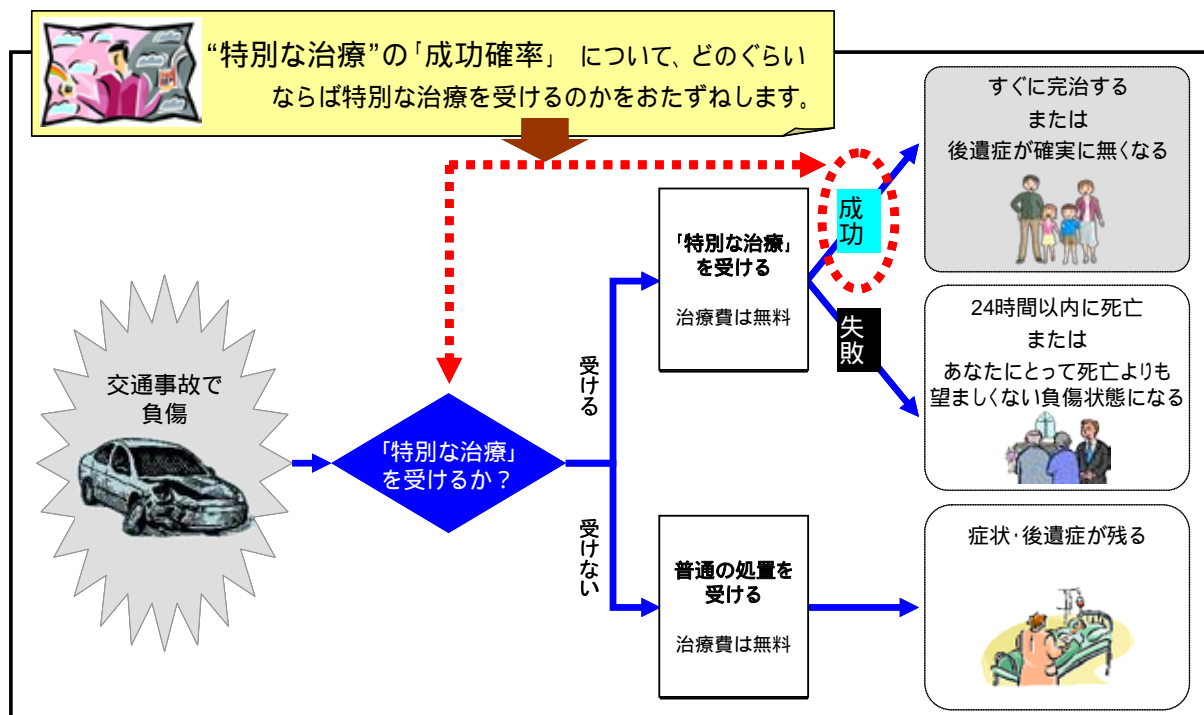
特別な治療について

交通事故に遭い、負傷してしまった時、あなたは「普通の処置」のみを受けるか、それとも現在研究が進められている最先端の医療技術を使った「特別な治療」を受けられるかを、選択することができます。

「普通の処置」を受ける場合は、ある負傷状態(症状・後遺症)が確実に残ったり、場合によっては死亡することもあります。少なくとも事故の前の状態にはもどれません。

「特別な治療」を受ける場合、どんな負傷に対しても、

- 成功した時には、すぐに完治するか、または後遺症が確実に無くなりますが、
- 失敗した時には、24時間以内に死亡するか、またはあなたにとって死亡よりも望ましくない負傷状態(重度の負傷状態や重度の後遺症が残る状態)となってしまう。



質問の内容

次の質問では、あなたが交通事故で負傷した際、「特別な治療」の『成功確率』について、どのくらいならば「特別な治療」を受けるのかをおたずねします。

留意点

ご回答に際して以下の点に留意してください。

「普通の処置」「特別な治療」ともに治療費は無料で、あなたの費用負担はありません。後遺症による治療費・介護費、収入の減少、その他金銭的な出費(病院までのタクシー代など)なども別途支払われ、あなたの費用負担は無いものと想定してください。

仮定を熟読し、理解できましたら、質問に進みます。次へ進むのボタンを押して、次の設問にお進みください。

10秒以上強制表示 (Web 上非表示)

全設問の表示時間を計測し記録 (Web 上非表示)

<以下、問12の回答者>

交通事故で負傷した時に受けられる「特別な治療」について

ここからの質問は、あなたが仮に交通事故に遭い、負傷してしまったと想定してください。先ほどの質問では、瀕死の状態ですが、今回は負傷し、怪我の治療を受ける状況を想定していただきます。先ほどの質問とは、少し異なりますので、よくお読みください。

特別な治療について

交通事故に遭い、負傷してしまった時、「普通の処置」のみを受けるか、それとも、現在はない架空のとても治療の効果が大きい「特別な治療」を追加で受けるかどうかを、選択することができます。

「普通の処置」のみを受ける場合は、一定期間の入院が必要であり、なんらかの後遺症が残ることもあります。

「特別な治療」を追加で受ける場合、どんな負傷に対しても、

- 1日の入院のみで、すぐに退院できます。
- さらに、後遺症は残りません。

質問の内容

次の質問では、あなたが交通事故で負傷した際、「特別な治療」の『治療費』について、いくらぐらいの金額ならば「特別な治療」を受けるのかをおたずねします。

留意点

ご回答に際して以下の点に留意してください。

「普通の処置」しか受けない場合、治療費は無料で、あなたの費用負担はありません。

「特別な治療」を追加で受ける場合、自費による治療費が必要で、全額をご自身で負担いただきます（健康保険や医療保険は効かないものとします）。

仮定を熟読し、理解できましたら、質問に進みます。[次へ進む](#)のボタンを押して、次の質問にお進みください。

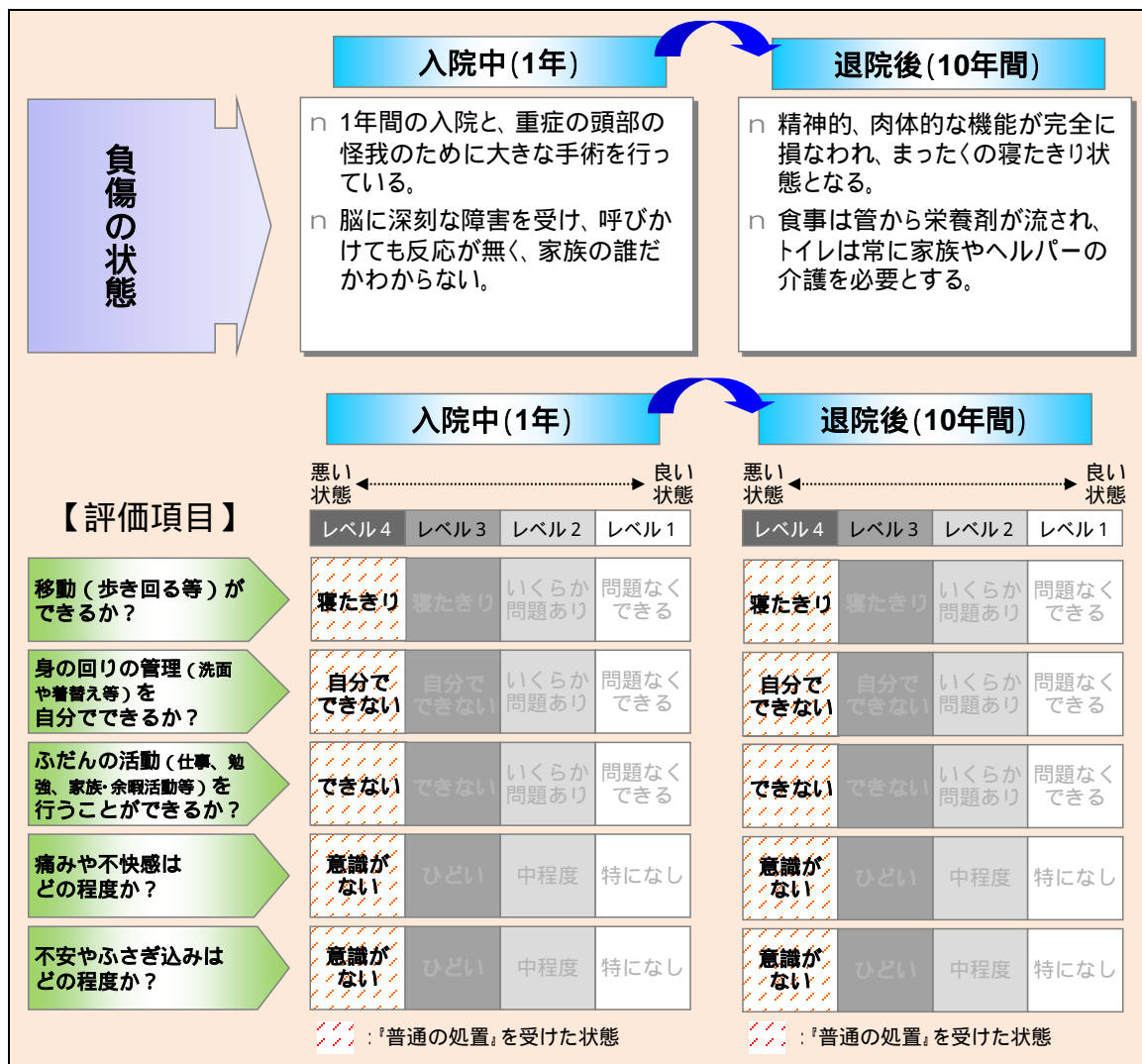
10秒以上強制表示（Web上非表示）

全設問の表示時間を計測し記録（Web上非表示）

< 問 8 > 交通事故で負傷した場合（負傷区分 Q）

ここで、あなた自身が交通事故に遭い、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で治療を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態が次のとおりとなってしまうと想定してください。



問 7 - 1 で負傷区分 Q よりも K(死亡)の順位が低い場合は問 8 - 1 へ (Web 上非表示)

問 7 - 1 で負傷区分 Q よりも K(死亡)の順位が高い場合は問 8 - 2 へ (Web 上非表示)

<問8 - 1> 「特別な治療」の選択について

あなたは、普通の処置のほかに、無料で「特別な治療」を受けることが可能です。しかし、その場合の結果は確実ではなく、成功することもあるれば、失敗することもあります。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に快復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。

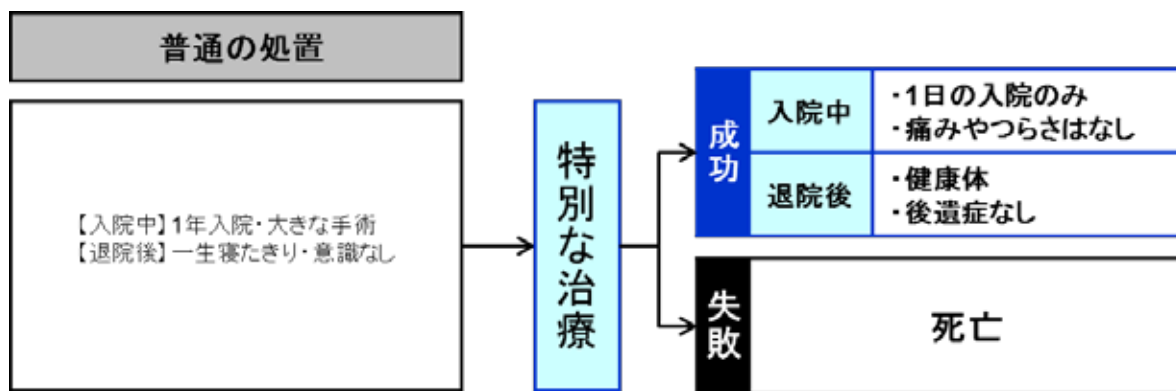
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに快復できます。

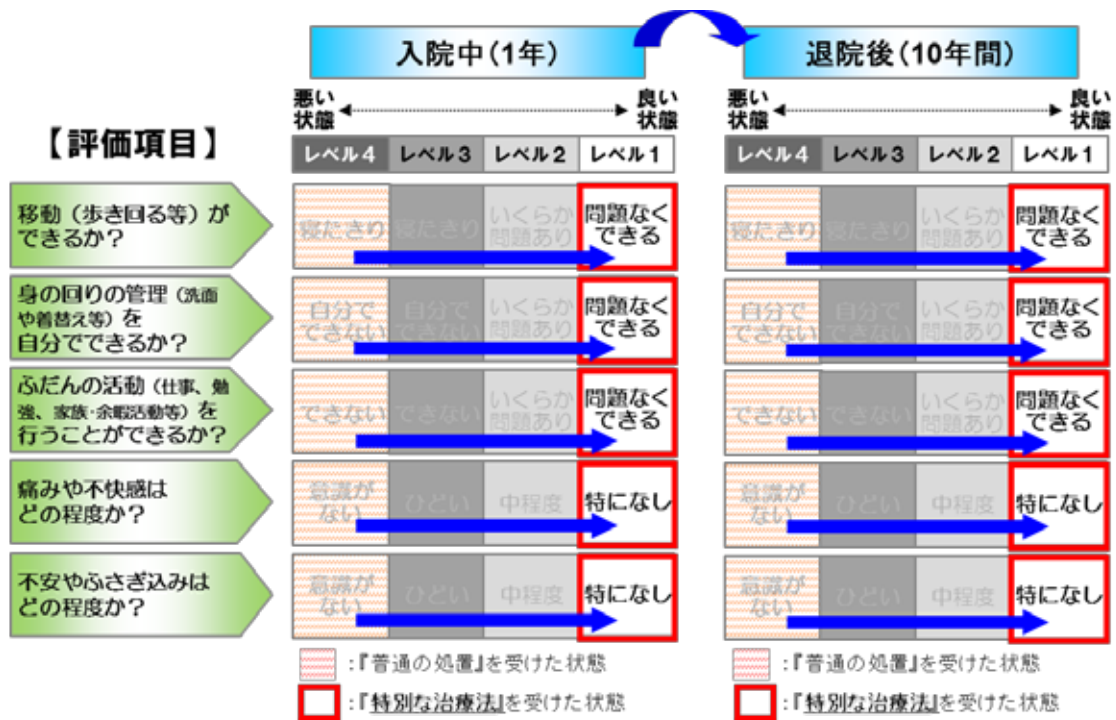
【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、24時間以内に死亡します。



「特別な治療」が成功した場合



< 回答 8 - 1 >

もし、あなたが交通事故で負傷して、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい。

(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります。)(問 13 へ)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		

問 8 - 1 からここまで、1 枚で。

<問8 - 2> 「特別な治療」の選択について

ここで、あなた自身が交通事故に遭い、病院に運ばれたと想像してください。

あなたがこのまま「普通の処置」を受けた場合、24時間以内に死亡してしまうような状況であると想定してください。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。

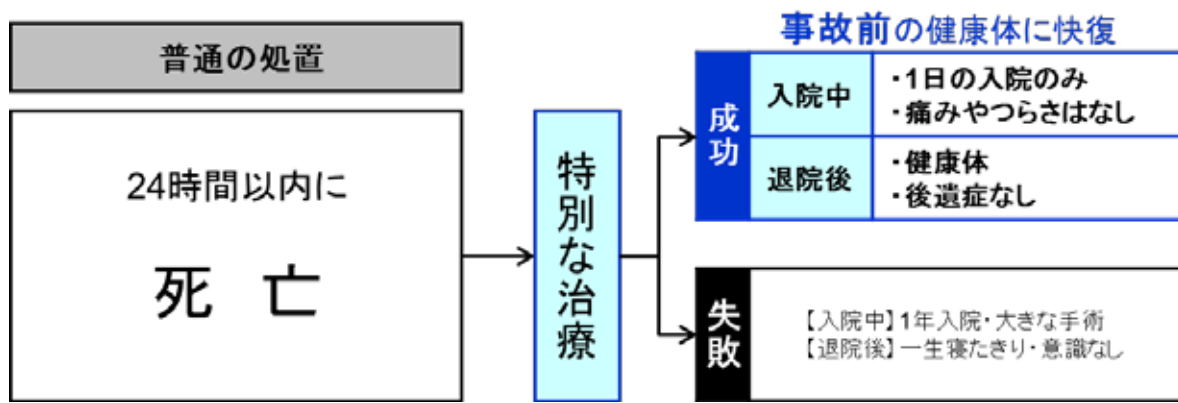
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに回復できます。

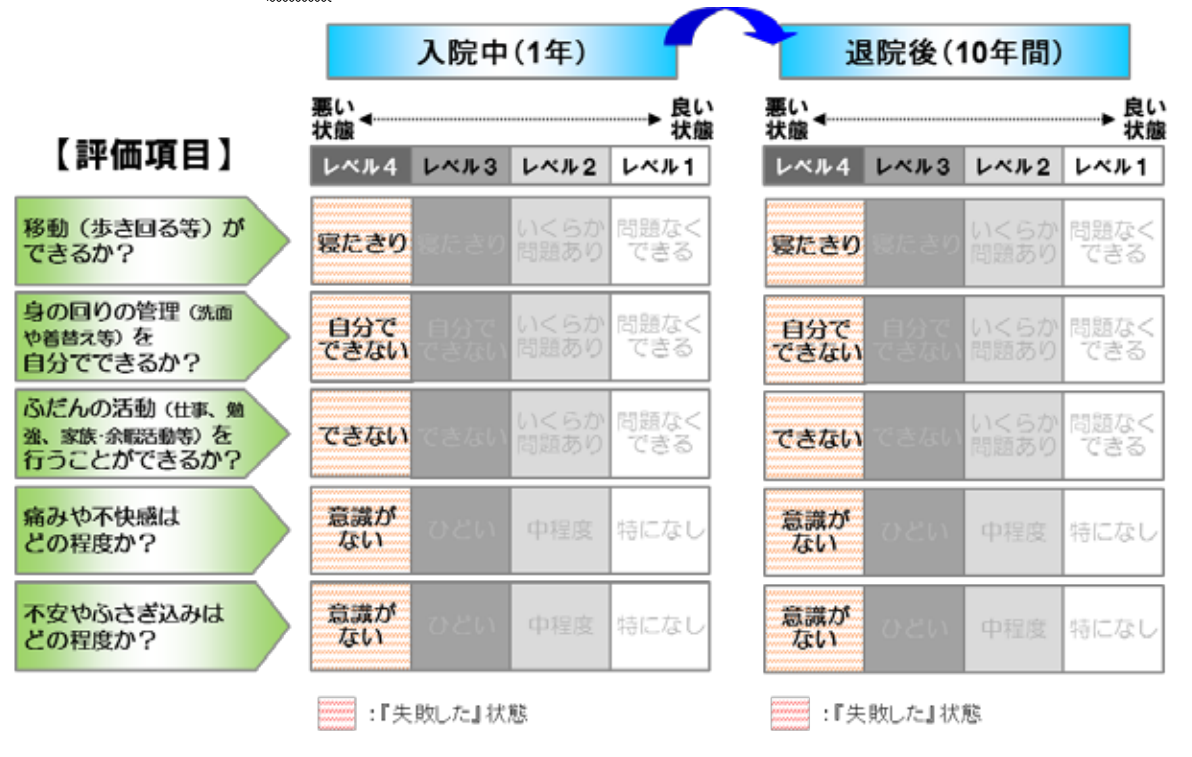
【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、先ほどご説明した次のような負傷状態になります。



「特別な治療」が失敗した場合



< 回答 8 - 2 >

もし、あなたが交通事故で、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい。

(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります。)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		

問 8 - 2 からここまで、1 枚で。

< 問 8 - 3 >

あなたが、この負傷の状況よりも死亡した方がましであると選択した理由は何ですか。

< 回答 8 - 3 > (SA)(問 1 3 へ)

- 1 死亡した方が苦しくないから
- 2 入院中、退院後に家族に多額の金銭的負担をかけてしまうから
- 3 入院中、退院後に家族に精神的、肉体的な負担をかけてしまうから
- 4 その他 (具体的に)
- 5 死亡した方がましであるとは選択していない